

令和3年度 川口市行政評価外部評価委員会に対する

ご意見及び回答

〔 回答:企画経営課 〕

1	意見	行政評価外部評価委員会では、予算を削減したり、事業を見直したりするだけでなく、予算を増額すべき事業に対しては、積極的な増額を提言できるようにすることを希望する。
	回答	ご指摘のとおり、本市において傾注していく必要性のある事業についても、評価対象事業として考慮するなどの視点も持ちながら、取り組んでまいります。

2	意見	事業内容説明シートはわかりやすいが、実施計画事業評価調書の3以降はよくわからない。3は空白、4は読み込めない。5と6は誰の評価なのか。 事業担当課とのヒアリングについて、説明の声、内容共にわかりにくかった。もう少しゆとり実感のある説明をお願いしたい。
	回答	実施計画事業評価調書は、各事業担当課が、当該事業の自己評価として作成している調書となっております。 また、実施計画事業評価調書につきましては、職員の視点から作成したもので、専門的な見地からの様式にもなっておりますことから、今年度、実施計画事業評価調書を簡素化した概要版として、「事業内容説明シート」を作成しました。このシートにつきましては、委員の皆さまからも一定の評価をいただきましたが、来年度以降も資料につきましては、市民目線に立って分かりやすい資料作成を心掛けてまいります。 なお、ヒアリングにつきましては、事務局から事業担当課に対し、実りのあるヒアリングとなるよう、さらに働きかけてまいります。

3	意見	対象事業に対する事前質問を1人あたり3問としたことについて。質問を考えることも行政への貢献の一環と確信して会議に参加しているので、来年度は再考いただきたい。
	回答	質問数が少ないことや、事業担当課の事前質問に対する回答がわかりにくいというご意見を多数いただいたことを踏まえ、来年度においては、この事前質問の募集方法や、第2回委員会での事業担当課の回答方法を見直し、より充実した議論となるよう努めてまいります。

4	意見	<p>企画財政部という部は他市では例が少なく、企画と財政の距離が近いことは、この評価を予算に反映しやすいのではないかという期待を持てるので、今後は評価結果の反映をより明確に打ち出してほしい。</p> <p>職員には、事業の改善の推進を図らなくてはということと、事業の急激な変化を敬遠するということの二つの心理があるように思える。その心理に対し、変化を促すことも外部評価の役目の一つと感ずることから、今後は、評価結果をより事業に効果的に反映するための道筋を積極的に検討いただきたい。</p>
	回答	<p>外部評価結果については、翌年度の予算編成にあたり、財政課と結果を共有し、予算ヒアリングにも活用したうえで、予算の増減や事業の統廃合等の成果をあげているところでございます。</p> <p>しかしながら、短期間の中に評価結果が反映される事業の方が少ないことから、評価結果の反映につきましては、長期間におけるフォローアップの推進を図るなど、外部評価結果の道筋については、今後事務局にて検討してまいります。</p>